借入申込希望書 兼 経営改善資金計画書(個人)

	※提出す	る窓口機関	名を記載。	5		御中	『別紙の	式の記載		找して、別	いる書類が 途書類を深		らる場合は、 る方法等の
								便番号 所			年]口口口	J.	1
							7 '	話番号 」 'n ´ ナ 名	()			
							生	年月日	(年	月 日	生(歳)〕
1	(注1)直近	期は、直近0	の申告済の		色申告	/12 の決算期を記載 後決算を迎えてい		台後決算	を迎えてい	いない場合	は空白で可		5年目(目標年)
2	借入希望	望額·借入制	制度資金	等									
	ア 制度	資金借入	希望額(含	合計)		千円	3						
	イ 借入	、希望制度:	資金(注3)		農業	近代化資金	() 🗆	公庫資	金	ے ت	の資金でも可
	ウ クイ	ック融資(注	3•4)		希望	する	□希	望しなし	N				
	エ 農業	信用基金	協会保証	(注3)	希望	する	□希	望しなし	Λ.				
		する項目をき											
	(注4)クイ	ック融資は、対	対象資金や	対象者に一足	官の要件	‡があるため事[前に窓口材	機関に確認	認の上、記	亥当する項	目にチェック	クをする	こと
3	認定状況	兄·労働力・	経営規模	等									
	ア 認定	≧農業者•認	恩定新規記	就農者		認定農業者		認定籍	折規就農	建 者	□ どちら	でも無	い
	イ 労働	カカ											
		家族従事者	首(農業後	継者は、備者	き欄にる	その旨を記入)				従業員数	(家族従事	者除く)
	続柄	家族従事者 年齢	農	業従事日数		その旨を記入) 備考			雇用提		ズ(家族従事 現状	者除く	目標年
	— 続柄 —	年齢		業従事日数 目標	年				雇用提	影態		者除く	·
	続柄		農	業従事日数						多態 配用		者除く	·
	続柄	年齢歳	農	業従事日数 目標	年日				雇用研究時間(実人)	ぎ態 全用 数) 全用		A	目標年
	続柄	年齢歳	農	業従事日数 目標 日	年 日 日			(/	常時原(実人	影 産用 数) 産用			目標年
		年齢 歳 歳	農 現状	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日				雇用 開 常	ジ態 雇用 数) 雇用 ル数)	現状	Д Д	目標年
		年齢歳歳歳歳歳まままままままままままままままままままままままままままままままま	農 現状	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日] L	雇用所 常時人 実人 臨時所 (延べ)	影態 雇用 数) 雇用 ルバイト) 、数) (以下の)	現状	人人のする場	目標年人人人
	ウ経営	年齢 歳 歳 歳 歳 ま ま は く く く く く く く く く く く く く く く く く	農 現状	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日	備考	Ť		雇用所 常時人 実人 臨時アー (延べ) その他 農業共	が態 雇用 雇用 ルバイト) 、数) (以下の) (以下の)	現状	人人人のする場合を表現しています。	目標年 人 人 合にチェック) を含む) ロ
	ウ経営田	年齢 歳歳歳歳 ま規模の現 (農現状況	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日 日	備考	a	т (1) (2) (2)	雇用用 常典人 臨時パー・マン その他 果 果 保	ジ態 雇用 を開かり 雇用 イト) (以下のの は済へ加入	現状 項目に該当 済(今後加 <i>)</i>	人 人 する場 入予定さ 入予定さ	日標年
	ウ経営田畑	年齢 歳歳歳歳 は現模の現。 (農現状況つきのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日 日 日	備考	a	1 (1) (2) (3)	雇用用 常典人 臨時パー・マン その他 果 果 保	ジ態 雇用 を開かり 雇用 イト) (以下のの は済へ加入	現状 項目に該当 済(今後加) 済(今後加)	人 人 する場 入予定さ 入予定さ	日標年
	ウ経営田畑樹園地	年齢 歳歳 歳 ま規模の現 ((((地	農 現状 況 うち借地) うち借地)	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日 日 a a	((((((((((((((((((((((((((((((((((((((a a a	T (1) (1) (2) (3) (3)	雇用用 常典人 臨時パー・マン その他 果 果 保	ジ態 雇用 を開かり 雇用 イト) (以下のの は済へ加入	現状 項目に該当 済(今後加) 済(今後加)	人 人 する場 入予定さ 入予定さ	日標年
	ウ 経営田畑樹園地採草放牧	年齢 歳歳歳 歳 は規模の現。 (((地 (農 現状 況 うち借地) うち借地)	業従事日数 目標 日 日	年 日 日 日 日 a a	((((((((((((((((((((((((((((((((((((((a a a	T (1) (1) (2) (3) (3)	雇用用 常典人 臨時パー・マン その他 果 果 保	ジ態 雇用 を開かり 雇用 イト) (以下のの は済へ加入	現状 項目に該当 済(今後加) 済(今後加)	人 人 する場 入予定さ 入予定さ	日標年
	ウ田畑樹採施常 情用の提請が はいました はいま	年齢歳歳歳歳歳歳歳歳歳歳歳の現のでは、次にでいます。	農 現状 別 うち借地) うち借地) うち借地) うち借地) のの範本め氏名 ながよな、	業 (本) 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	年 日 日 日 日 日 a a a a 棟 情 。 続、農・	備考 (((((((((((((((((((は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	エ ① ② ③ する 保証に 保証に 保証に は ままま は ままま ままま は ままま ままま ままま ままま ままま	雇用 時人 ほん そ 農 収 法 同 続き 及資	が 重数 重ル数 以 へ へ 意 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	現状 現状 項目に該当」 済(今後加ン ら含すか 経営する	人人する定を含まれています。	日標年

□ 個人情報の取扱いについて同意する

4 事業計画

ア 事業計画概要(経営改善を図るための方策を具体的に記載。) ※農業改良資金の借入を希望する場合、新作物、流通加工分野、新技術に係る取組内容についても記載。

イ 投資計画 資金計画 【金額単位:千円】

	以只们								[业
			投	資計画			資金計	画	
No.	宝饰年	実施年 種類 数量 規模・能力		必要額	借之	入金	補助金	自己資金	
INU.	大心牛	化生块	奴里	が形で配り	少女領	制度資金	その他	細切並	日巳貝亚
1									
2									
3									
4									
5									
		合詞	 						

資金計画のうち借入金の内訳

該当計画 (注5)	借入先	資金名	資金の使いみち	借入時期(予定)	借入額(予定)	償還期間(予 (うち据置期)	
No.				年 月		年(年)
No.				年 月		年(年)
No.				年 月		年(年)
No.				年 月		年(年)
No.				年 月		年(年)

【金額単位:千円】

ウ 収支実績・計画(収支計画を作成する場合は、本項目は省略可)

	直近実績(農	業部門)(注6)	目標年(農	農業部門)
区分	主要第一品目	主要第二品目	主要第一品目	主要第二品目
品目				
生産規模(単位)(注6)	()	()	()	()
生産量(単位)(注6)	()	()	()	()
収入金額	千円	千円	千円	千円

(注6)品目に合わせて、生産規模(例:a,m,頭,千羽)・生産量(例:kg,t,千本,千鉢,頭,羽)の単位を記載。

						【金額単位:千円】
	直近	実績(注7•8)		目	標年(注7)	
区分	計	農業	農外	計	農業	農外
収入①						
支 出②						
うち減価償却費③						
所 得④(①-②)						
家計費等⑤			听得割合			
償還財源(③+④-⑤)		(農業所	得/所得計)			
償還元金			%			
既往総借入金残高						
預貯金残高						

- (注7) 各種経営安定対策等の農業経営に関する受取金等は農業収入に含め、年金、祝金等は農外収入に含めること。
 - ・所得は、青色申告の場合は各種引当金・準備金等考慮前の差引金額を、白色申告の場合は、専従者控除前の所得金額を記載。
 - ■償還元金は、農業以外の借入金も含めること。

(注8)特別の事情があるときは、既往総借入金残高・預貯金残高を除き、直近実績欄に直近期の前期の実績を記入しても差し支えない。 【派付書別最近3カ年の青色申告書、白色申告書、農協の組合員勘定、貸借対照表、損益計算書等(ただし、経営実績が3期に満たない場合には、経営実績分の書

⁽注5)投資計画・資金計画に対応したMcを記載。同一のNaの投資計画・資金計画に対し、複数の金融機関からの借入や借入条件が異なる複数の借入を利用する等の 場合は、同一のNo.を記載した上でそれぞれ記載する。

【収支計画例(個人)】(注)各金融機関の所定様式を使用しても差し支えない。

単位 (注1) a kg	直近実績 (注2)	計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目(目標年)	備考
+							
+							
kg							
							<u> </u>
						1	
							1
							†
							1
lt-							1
							1
1							
	/						
	=						別、o m ² 語 王 33) n 生 产 景 (園・ b g + 工 末 工 針 語 33) の 闺 位 た 記 献

⁽注1)品目に合わせて、生産規模(例:a,mⁱ,頭,干羽)・生産量(例:kg,t,干本,干鉢,頭,羽)の単位を記載。 (注2)特別の事情があるときは、負債の欄を除き、直近実績欄に直近期の前期の実績を記入しても差し支えない。

借入申込希望書 兼 経営改善資金計画書(法人•団体)

※提出する窓	ミロ機関名を記載	t.		御中	紙のと	大の記載事	耳項が含まれている書 □載して、別途書類を ない。		
					郵便	番号	000-00		月 日
						番号	()		
					7 U :		()		
					ァリ: 代表 生年		〔 年 月	日生(歳)〕
	 は、直近の申告済決	等書の決	・ ・算期を記載(約	圣営開始後	決算を迎え	ていない場	〜 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	期(計画5年	目(目標年))
借入希望額	•借入制度資金	· 等							
	金借入希望額(千円				
イ 借入希	望制度資金(注3)	□ 農業	美近代化	資金() □ 公庫	資金 🗆	どの資金でも
ウ クイック	融資(注3•4)		□ 希望	星する		希望しな	il)		
エ 農業信	用基金協会保証	正(注3)	口 希望	星する		希望しな	il v		
	項目をチェックをす			_, _					
(注4)クイック層	触資は、対象資金や	や対象者に	- 一定の要件か	「あるため	事前に窓口板	機関に確認	の上、該当する項目に	チェックをするこ	٤
	片働力·経営規 業者 · 認定新規		□認足	官農業者		認定新規	見就農者 □	どちらでも無	乗しゝ
イ 法人・団	団体の概要								
設立年月	年	月	資本金			千円	構成戸数		戸
提出	員氏名	年齢	役職担当	出資	法人 - 従事		征	É業員数	
1	.良以石	十四	1文 戦 担 ヨ	口数	現状	目標年	雇用形態	現状	目標年
							常時雇用(実人数)	J	J
							(500 1501)		
							臨時雇用 (パート・アルバイト) (延べ人数)	,	,
ウ 経営規	模の現況					I	臨時雇用 (パート・アルバイト)		
ウ 経営規を	模の現況(うち借地)		а (a)	т ①	臨時雇用 - (パート・アルバイト) (延べ人数)	目に該当する	る場合にチェッ
					a) a)	l _	臨時雇用 (パート・アルバイト) (延べ人数) その他(以下の項	目に該当する	る場合にチェッ を含む) 口
田	(うち借地)		a (1	臨時雇用 (パート・アルバイト) (延べ人数) その他(以下の項 農業共済へ加入済)	目に該当する	る場合にチェッ を含む) 口
畑	(うち借地)		a (,	a)	1	臨時雇用 (パート・アルバイト) (延べ人数) その他(以下の項 農業共済へ加入済)	目に該当する	る場合にチェッ を含む) 口
畑樹園地	(うち借地) (うち借地) (うち借地)		a (<u> </u>	a) a)	1	臨時雇用 (パート・アルバイト) (延べ人数) その他(以下の項 農業共済へ加入済)	目に該当する	る場合にチェッ を含む) 口
畑樹園地採草放牧地	(うち借地) (うち借地) (うち借地) (うち借地)	種類	a (a (<u> </u>	a) a)	1	臨時雇用 (パート・アルバイト) (延べ人数) その他(以下の項 農業共済へ加入済)	目に該当する	る場合にチェッ を含む) 口

4 事業計画

・ 事業計画概要(経営改善を図るための方策を具体的に記載。) 農業改良資金の借入を希望する場合、新作物、流通加工分野、新技術に係る取組内容について

イ 投資計画 資金計画 【金額単位:千円】

	汉只们							k.	亚 <u>朗</u> 十四. 1 1 1
_			投	資計画			資金	計画	
		7.4.火工	ᄣᄪ		2 = 65	借入金		1+n1 A	白口次合
No.	実施年	種類	数量	規模•能力	必要額	制度資金	その他	補助金	自己資金
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

資金計画のうち借入金の内訳 【金額単位:千円】

該当計画 (注5)	借入先	資金名	資金の使いみち	借入時期(予定)	借入額(予定)	償還期間((うち据置期	
No.				年	月		年(年)
No.				年	月		年(年)
No.				年	月		年(年)
No.				年	月		年(年)
No.				年	月		年(年)

⁽注5)投資計画・資金計画に対応したNoを記載。同一のNoの投資計画・資金計画に対し、複数の金融機関からの借入や借入条件が異なる複数の借入を利用する等の場合は、同一のNoを記載した上でそれぞれ記載する。

ウ 収支実績・計画(収支計画を作成する場合は、本項目は省略可)

_	直近実績(農	業部門)(注6)	目標年(農	農業部門)
区分	主要第一品目	主要第二品目	主要第一品目	主要第二品目
品目				
生産規模(単位)(注6)	()	()	()	()
生産量(単位)(注6)	()	()	()	()
売 上	千円	千円	千円	千円

(注6)品目に合わせて、生産規模(例:a,m,頭,千羽) 生産量(例:kg.t,千本,千鉢,頭,羽)の単位を記載。

					[金額単位:千円】
	直達	丘実績(注7)			目標年	
区分	計	農業	農外	計	農業	農外
売 上①						
売上原価②						/
うち減価償却費③						
売上総利益④(①-②)						
販売管理費⑤						
うち減価償却費③						
営業利益(④-⑤)						
経常利益						
税引後当期利益⑥		農業売.				
償還財源(⑥+③)		(農業売上	/売上計)			
償還元金			%		V	
既往総借入金残高						
資本(純資産)						

⁽注7)特別の事情があるときは、既往総借入金残高・資本(純資産)を除き、直近実績欄に直近期の前期の実績を記入しても差し支えない。 【添付書類】最近3ヵ年の決算書(附属明細書を含む)等(ただし、経営実績が3期に満たない場合には、経営実績分の書類提出で可)

【金額単位·千円】

				11	T				【金額単位:千
		単位 (注1)	直近実績 (注2)	計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目 (目標年)	備考
た <u>上</u>									
	生産規模	а							
記入例水 稲	生産量	kg							
1,7	売上高								
	生産規模								
	生産量								
	 売上高								†
	生産規模								
	生産量	 							
	 売上高				L	<u> </u>			
	生産規模								
	生産量								
	<u> </u>					 		 	
-	生産規模								
	生産量	 				<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
						<u> </u>			
7.0/11/	売上高								
その他(売上原価)	 							
		 							
当期商品		1							
	品製造原価								
	材料費								
	労務費								
	賃借料								
	その他経費	1 1							
40 -tt- 4	(うち減価償却費)	-							
────────────────────────────────────	2品棚卸高	1 -							
で上応刊無 販売費・一角		1							
役員報酬									
その他人									
出荷販売									
減価償却	『 費								
営業利益									
営業外利益									
営業外費用		4 /							
支払利息	<u> </u>								
経常利益 特別利益		 							
すが利益 特別損失		╂╽┝							
· /// / / / / / / / / / / / / / / / / /	 利益								
去人税等充									
賞還財源									
賞還元金									
差引余剰									
	等の設備投資 ニュー								
農業負債(領									
農業負債(長期)	 		-					
農外負債	負債合計						ļ	ļ	

⁽注1)品目に合わせて、生産規模(例:a,m、頭、干羽)・生産量(例:kg,t,干本,干鉢,頭羽)の単位を記載。 (注2)特別の事情があるときは、負債の欄を除き、直近実績欄に直近期の前期の実績を記入しても差し支えない。

認定新規就農者の貸付けに関する意見書

						年	月	日
	農林中	農農金銀信信日本 は の の 同 同 に で は ない は は ない は で は ない は いい は いい は いい は	組合連合会組合。	支店店店店店店	御中			
				_				
	意見書	書作成者 □ □ 書 □ □ 記	祁 道 府 県 忍 定 農 業 者		士等			
		1	1					
借入	、希望者	氏 名						
	(加重由	住 所						
		1						
総	合意見				する見込みだ する見込みし		ある	
	- -			-8	E & 中南 #			
	項目	判定		 	題の内容等			
判断	適性意欲							
根拠	技 術知 識							
	\$ I_ → I dui s	u	1		m ez no .		<i>t-</i> == ±0 1.	
		断される項目 載は、◎…妥						る 。
	豊後の 算支援	作成支援者等	による指導	・支援体制)			

(別紙2の(5)の① (第3の1関係))

(記載要領)

1 意見書の作成機関

本意見書は、都道府県(普及指導センターを含む。)が作成(必要に応じて関係機関の意見を踏まえて作成する場合を含む。)する。また、 農業経営の指導等を適切に行うことができる指導農業士(これに類する ものを含む。)等も作成することができる。

また、意見書作成者の属性を口にチェックを入れる。

2 「総合意見」欄

借入希望者が、今回の借り入れにより経営改善資金計画書を達成する見込みについて、3の「判定」の欄に「疑義あり」が無い場合は「経営改善資金計画書を達成する見込みがある」に、「疑義あり」が有る場合は「経営改善資金計画書を達成する見込みに疑義がある」の口にチェックを入れる。

3 「判断根拠」欄

「判定」欄に「疑義あり」がある場合にはその理由を記載する。また、「判定」欄に「疑義あり」が無い場合であっても、課題があると判断する場合は、その内容や課題を克服する見込みを記載する。

項目毎の判定にあたっての目線は次のとおり。

(適性・意欲)

農業を行っていくだけの充分な体力があるか 新たに経営を開始するにあたっての経営感覚・意欲を有しているか 地域の一員として協力し、溶け込もうとしているか 借入希望者に、指導・支援を受ける意思はあるか

(技術 - 知識)

研修を受けるなどして、経営改善資金計画書の営農計画を行うだけの基本的な技術・知識を身に付けているか

労働力、投資規模、経営改善資金計画書の単価・単位あたり収量は、 妥当な水準か

4 就農後の指導・支援

就農後における普及指導センターや研修先、市町村、農業協同組合等による指導・支援についてどの機関が、どの程度の頻度でそれぞれ技術・経営指導の支援を行うのかなど具体的に記載する。

別紙2の(5)の② (第3の1関係)

確認書

				年	月	日			
農業協同組合 信用農業協同組合連合会 農林中央金庫 銀行 信用金庫 信用協同組合 株式会社日本政策金融公庫	支店 店店店店店	〉 御	中						
都道府県									

下記の借入希望者に係る認定新規就農者の貸付けに関する意見書の内容については、当該意見書作成者の人格・能力等からみて適切であることを確認しました。

記

借入希望者氏名

意見書作成者氏名

意 見 書 作 成 日 年 月 日

別紙3 (第3の2関係)

経営改善資金計画書の審査の考え方

無	事 本 新	1世	丁旦
具体的な着眼点・判断基準	具体的な看版点・判断基準 ○ 経営者の能力(技術レベル、経営マインド、生産物の単収・品質、 生産コスト、資産等)はどの程度か ○ 経営力を背景とした収支実績、財務内容、資金繰りはどうか(家族 経営の場合、家計も含めて分析) ○ 既貸付金の償還は確実に行われているか ○ 経営上の問題点は何か	 ○ 経営者の能力(現在の技術レベル、経営マインド等)からみて達成できるか(技術レベルの判断にあたっては研修実績を考慮する場合には、研修機関が公的機関か民間機関であるかで判断するのではなく、計画を実行するための基本的な技術や知識を身に付けているかどうかを判断するものとする)※ ○ 計画の内容が過大投資になっていないか 	 ○ 収益見通しの算出基礎となっている単収単価等は無理のないものか ○ 償還見通しはあるか(既貸付金がある場合には、それを含めて償還可能性を判断) ○ 農業共済や収入保険に加入するなど、当該作目が被災したり、需給・価格動向がある程度変動しても償還可能となるよう検討されているか。
融資審査の視点	融資番金の視点これまでの経営状況はどうなっているのか。	経営改善のための計画は適切であり、実行可能か。	収益はどうなるか。融資返済は可能か。
融資審査の視点	(ど) 経営者の 生産コスト (経営力を 経営の場合 (既貸付金 () 既貸付金	○ 経営者のできるか(は、研修機計画を実行を判断する○ 計画の内の計画の内の計画の方の計画の内の計画の内の対象	

※ 農業者の経営能力等からみて、経営改善資金計画の実行可能性に疑問がある場合には、1年間、普及指導センター等の指導 を受けて、1年後に再度判断するものとする。ただし、借入希望者が認定新規就農者である場合は、普及指導センター等の指 導を受けて再度判断を行うものとする。

令和〇年の経営状況報告書(△年目)(個人) (注)この様式に記載されている事項が含まれている別途書類がある場合は、別紙のとおりと 年 月 日 融資機関あて 記載して、別途書類を添付する等の方法を採っても差し支えない。 本人氏名 (指導担当者氏名

	この欄のみ記入(他の欄は融資機関が予め記入) (金額単位:千F 前々年実績 前年計 5年目計画 5年目計画									
		前々年実績	前年計	Z b	Mrs間貝(放) (A) / 1 b/a%	計画	5年目計画			
			ч	<u> </u>	D/ G/0					
記入例	経営規模									
水稲	生産量									
	売上高						経 7//			
	経営規模						営改善資			
	生産量						善/			
	売上高) 金			
	経営規模						金 計 画			
	生産量				欄		画 / と			
	売上高						と 相 違 が			
	経営規模				動		選 が			
	生産量						な			
	売上高						い 堪			
作業受託収入							場 合 は そ の			
その他()						は			
							0			
原材料費							旨 を 記			
施設▪機械費							· 記			
	うち減価償却費						載 す			
出荷販売経費							れ			
雇用労賃							ば 足			
支払利息							り			
支払地代							る。 			
その他										
農業所得										
丰金被贈等										
農家総所得										
家計費										
租税公課										
賞還財源										
賞還金(元本)										
差引余剰										
施設▪機械等の設備	投資									
農業負債(短期)										
農業負債(長期)										
農外負債										
計							T			

令和〇年の経営状況報告書(△年目)(法人)

融資機関あて

(注)この様式に記載されている事項が含まれている別途書類がある場合は、別紙のと おりと記載して、別途書類を添付する等の方法を採っても差し支えない。 年 月

日

本人氏名

(指導担当者氏名

記入例 大 和 経 数域接							金額単位:千円
記入例 松			前々年実績			次年度計画	5年目計画
水 和 生産業	^{売上}			- D 188 D 7 =	2.3 (Al. co. 188) 1.51.7/2	7 LUL HE 18 7 17 27 37 37 3	<u> </u>
表上高 経営規模 上産業 元上高 経営規模 上産業 元上高 経党規模 上産業 元上高 軽党規模 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	記入例	経営規模		 この欄のみま	こ人(他の禰は融貨	は機関かすめ記入	
経感規模	水 稲	生産量					/ <u>_</u>
売上高 経営規模		売上高					経 _/_
売上高 経営規模		経営規模					営 //
売上高 経営規模		生産量					改 /
売上高 経営規模		売上高					音 /
売上高 経営規模		経営規模					金 <u></u>
売上高 経営規模 生産量 売上高 経営規模 生産量 売上高 経営規模 生産量 売上高 その他() 北上高 当期前品社人高 当期製品製造原価 材料費 労務費		生産量					計
生産電 日 日 日 日 日 日 日 日 日		売上高					画
生産電 日 日 日 日 日 日 日 日 日							٤ ===
売上高 経験別様 前計 京上高 全の他() 京上高 をの他() 京上高 をの他() 京上高 をの他() 京上 原価 財害商製品棚卸高 当期商品は入高 当期製品機工 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京			T				作 造
経営規模 生産量 下			T				が
生産量					割計		な
売上高 一表上高 一表上 一表上高 一表上 一表上表 一表上 一表上表 一表上				 1	算 ====		V)
Te One			†	 	†		場
## 1	その他(台は
期首商製品棚卸高 当期商品社入高 当期製品製造原価 材料費 労務費 賃借料 その他経費 (減価償却) 期末商製品棚卸高 上総利益 役員報酬 その他人件費 出荷販売経費 減価償却費 *業利益 *業外利益 *業外利益 *業外利益 *業外利益 *業外利益 *業外利益 (支払利息 ※常利益 (支払利息 を常利益 (支払利息 を常利益 (支払利息 を常利益 (支払利息 を常利益 (支払利息 を常利益 (支払利息 を常利益 (支払利息 (支払利息 を常利益 (支払利息 (支払利息 (支払利息 (支払利息 (支払利息 (支払利息 (支払利息 (支払利息 (支入税等充当額 (支入税等充当額 (支入税等充) (支入税		,					マ
当期商品住入高							0
TAPY					1		i i
TAPY					†		<i>E</i>
労務費 賃借料							記
(要信料 その他経費 (減価償却) 期末商製品棚卸高 5上総利益 元売費・一般管理費 役員報酬 その他人件費 出商販売経費 出商販売経費 出商販売経費 当業利益 (3月前当期利益 5人税等充当額 (3月前当期利益 5人税等充当額 (3月前当期利益 5人税等充当額 (3月後当期利益 (3月後当期利益 (3月後当期利益 (3月後)日報 (3世報) (3世							載
その他経費 (減価償却)							⁹
(滅価償却)							ば
期末商製品棚卸高 売上総利益 双売費・一般管理費 役員報酬 その他人件費 出荷販売経費 減価償却費 営業外利益 営業外利益 営業外利益 管業外費用 支払利息 を常利益 党引前当期利益 法人税等充当額 売引後当期利益 造引後当期利益 造引後当期利益 造引後当期利益 造引後の設備投資 農業負債(短期) 建業負債(長期)							足
正上総利益 「元費・一般管理費 ②員報酬 その他人件費 出荷販売経費 滅価償却費 益業利益 (本業外利益 (本業外費用 支払利息 を常利益 近引前当期利益 近引前当期利益 近引後当期利益 (連選財源 (達選財源 (達選財源 (達選財源 (達選財源 (主教) (元本) (主教) (表教)	₩+±						9
		伽印尚			+		る。 ——
世界		*					
その他人件費 出荷販売経費 減価償却費 営業外利益 営業外費用 支払利息 経常利益 売引前当期利益 長人税等充当額 売引後当期利益 電運財源 電運金(元本) 売引余剰 西設・機械等の設備投資 建業負債(短期) 建業負債(長期)		<u>質</u>					
出荷販売経費 減価償却費							
減価償却費							
会業利益 会業外利益 会業外費用 支払利息 を常利益 心引前当期利益 法人税等充当額 心引後当期利益 強選財源 資選す(元本) 自引余剰 血設・機械等の設備投資 農業負債(短期) 農業負債(長期)		貫			1		<u> </u>
会業外利益 会業外費用 支払利息 を常利益 会別前当期利益 長人税等充当額 会別後当期利益 資還財源 電波金(元本) を引余剰 西設・機械等の設備投資 農業負債(短期) 最外負債							
 会業外費用 支払利息 経常利益 会司前当期利益 会司後当期利益 会司後当期利益 会司後当期利益 会理域に元本) 会司余剰 会社会会の設備投資 会業負債(短期) 会業負債(長期) 会外負債 							-
支払利息					1	 	
経常利益 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						 	
記引前当期利益 法人税等充当額 記聞後当期利益 認置を(元本) 記引余剰 正設・機械等の設備投資 農業負債(短期) 最外負債							
法人税等充当額 記引後当期利益 設置ま(元本) 造引余剰 正設・機械等の設備投資 農業負債(短期) 農外負債	経常利益				ļ	 	
記引後当期利益 選選士(元本) 造引余剰 西設・機械等の設備投資 農業負債(短期) 農業負債(長期)	<u>税引前当期利益</u>						
遺還財源遺還金(元本)造引余剰一型設・機械等の設備投資農業負債(短期)農業負債(長期)農外負債	<u>法人税等充当額</u>						
資運金(元本)差引余剰一一農業負債(短期)農業負債(長期)農外負債	<u>税引後当期利益</u>				1		
世 日 主 記 ・機械等の設備投資 農業負債(短期) 農業負債(長期) 農外負債	<u> </u>						
西設・機械等の設備投資農業負債(短期)農業負債(長期)農外負債	償還金(元本)					$\coprod \coprod$	
農業負債(短期) 農業負債(長期) 農外負債	差引余剰						
農業負債(長期) 農外負債	施設・機械等の設	備投資					
農業負債(長期) 農外負債	農業負債(短期)						
是外負債	農業負債(長期)						
	農外負債						

※法人格を有しない団体も本報告書に準ずる。

(注)一つの融資機関単独で融資審査した場合は別途任意様式を使用しても差し支えない。

参考様式2(第5の6関係)

<u>融資審査等</u>総括表

| 特定地域であるか否かのチェック欄 特定地域であれば市町村名を○で囲む等 市町村 普及指導センター/農協

資金借入申込者氏名 営農類型/規模 融資機関記載欄1 融資機関記載欄2 融資機関記載欄3 特別融資制度推進会議記 載欄 1 これまでの経営状況は

どうなっているのか (経営者の能力)	融資機関名:資金名			
経営マインド 技術レベル				
単収	** 地域の平均と比べて、 *** ** 「平均並み」、	様式別紙20 用した場合に	の(3)又は(4)を使 ナ記 A 不要	
品質•単価 規模	「優れている」、 「劣っている」、 で記入	713 072-000 111		
コスト				
家計費 etc				
2 経営改善のための計画は適切であり、実行可能なものか 3 計画が実行された場合に収益はどうなるか、借入金の返済は可能か	・現状から見て実現可能か・過大な投資となっていないか ・計画の算出基礎となっているにいる単収・単価は無理がないか・ 単収・価格がある程度変動しても償還可能となるよう余裕をもったものとなって	様式別紙2用した場合用で記入。	の(3)又は(4)を使け記入できる範	
担保提供	千円			
農業信用基金協会保証 融資額	千円	- T m	7.00	
農業改良資金を活用することに	十円 認定の適否:適 · 否	千円	千円	
ついての都道府県の判断				
融資可否の判断				

借入申込書

年 月 日

		農業協同組合 司組合連合会 支店 店店店店店店店店店店	支店(剤	御	中				
提出先の融資	機関にチェックを入れてください。		郵便番	号 : -	-				
			フリガラ	_					
			住 原 電話番 (自宅又は法人人 電話番 (携帯 フリガブ	号 代表電話) _ 号))			
			氏 4	-					
			役職 氏 生年月日		-				
			設立年月	_	年		日(歳) 		
資金名			1 1217	借入		TIME PO IN INC.		カ月間	
借入金額				千円うち掛	居置期間		年	カ月間	
借入金使途				第1回	回償還日	令和	年 月	目	
借入予定日	令和 年	月 日		最終	償還日	令和	年 月	B	
利率	年 %			償還 (該当	方法 番号を記載)		1.元金均等 2.元利均等		
元金の支払い	(償還回数・償還日) (元金) (償還回数: 年 回払い 第 1 毎年の償還月: □1月 □2月 □3月 □4月 □5月 □6月 □7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 第 毎回の償還日: 毎回 日 第					0	¥ ¥	円 円 円	
	所	地目種類	筆数	登記面積	担保種類	設定順位	位 所有者名(担保提供者)		
担保 □ 有 □ 無				筆	m ^r m ^r				
				筆	m²				
	区分	_	住所(上)	<u> </u>		氏名又は法人		申込者との関係 (口にチェック)	職業又は営業内容(上)
	(該当番号を記載)	〒	話番号(下)		フリガナ	生年月日又は設立年月日(下)			年収又は年商(下)
連帯債務者 連帯保証 担保提供者	1.連帯債務者 2.連帯保証人 3.担保提供者					年 月	□ 配偶者 □ 親子 □ 兄弟姉妹 □ その他 ■ 歳)	万 円	
	1.連帯債務者 2.連帯保証人 3.担保提供者		フリガナ		年 月	□ 配偶者 □ 親子 □ 兄弟姉妹 □ その他	万円		
	1.連帯債務者 2.連帯保証人 3.担保提供者	Te.(携帯) 〒 Te.(自宅・法人代表電話) Te.(推業)			フリガナ		年月	歳) □ 配偶者 □ 規子 □ 兄弟姉妹 □ その他	万円
		TeL(携帯)					(歳)	1

⁽記入上の注意) 国民の祝休日と1月2日、1月3日、12月31日は払込期日としないでください。 農業近代化資金の場合、償還方法について、原則元金均等となります(融資機関に事前にご確認ください)。

借入申込書兼債務保証委託申込書

	中央金 銀信信用 信用付会社日	信用農業協	支店 店店店店店店店 公庫		支店(所		即中			T	,, 1
提出先の融資材	機関および	保証機関にチェックを	入れてください。		郵便番	号	〒				
					フリガナ	-					
					住 所 電話番号 (自宅又は法人代 電話番号 (負宅又は法人代 で で で で で で で で で で で で で で で で を で	号代表電話))			
					役職 氏						
					生年月日 設立年月	又は 日	年	月	日(歳)		
7 A A					[法人等		よ、氏名欄に法人名	、役職 氏名欄に			
資金名 							入期間			カ月間 	
日八並領 							·据置期間 	令和	年 年 月	ヵ月間 	
借入亚 (大型) 借入予定日	令和	 年	月	 目				令和	年 月	B	
利率	年	%				償		1-1-		2.元利均等	
	<u> </u>						当番号を記載) 証料支払方法			2.分割前取 3.分割	<u> </u>
	//学温15						当番号を記載) 金償還額)		1. 10140	2.万亩1月1月 3.万亩11	Σ.AX
	/						1 回 ~ 第	•	¥ 円		
元金の支払い	毎年の償還月: □1月 □2月 □3月 □4月 □5月 □6月]6月 第 同 : 第			¥ 円		
	□7月 □8月 □9月 □10月 □11月 □12月 毎回の償還日: 毎回 日				第	回 ~ 第		¥	円		
		所		地目種類 筆数 登記面積		担保種類	設定順位	所有者名(担保提供者)			
担保						筆	± m³				
□ 有□ 無						筆	: mi				
					Δ= Γ/Ι\	筆	m [†]	# # # # I	2/1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	(該)	区分 当番号を記載) 1			住所(上) 話番号(下)			氏名又は法人 F月日又は設立		申込者との関係 (口にチェック)	職業又は営業内容(上) 年収又は年商(下)
		1.連帯債務者 2.連帯保証人 3.担保提供者		5人代表電話)			フリガナ		年月	□ 配偶者 □ 親子 □ 兄弟姉妹 □ その他	万円
			Tel (携帯)				フリガナ		(歳)	
連帯債務者 連帯保証人 担保提供者	1.連帯債務者 2.連帯保証人 3.担保提供者 Ta(自宅・法人代表電話)						年月	□ 配偶者 □ 親子 □ 兄弟姉妹 □ その他			
			Tel (携帯)						(歳)	万円
			₹				フリガナ				
		1.連帯債務者 2.連帯保証人 3.担保提供者	Ta.(自宅·汾	大代表電話)					年 月	□ 配偶者 □ 親子 □ 兄弟姉妹 □ その他	
			Tel (携帯)	VI VAN HEBBI					+ //	歳)	万円